

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 3 日

評価対象事業		評価者	都市景観課長 若林 篤	
都景-03	旧華頂宮邸管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	都市景観課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	3-(2) 都市景観	施策の方針	3-(2)-①良好な都市景観の形成

1 事業の目的

対象	市民等
意図	旧華頂宮邸の適正な管理運営を図るため。
効果	市民をはじめとする多くの人々が集い、様々な情報を発信していく施設として活用を図る。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・庭園の一般公開(週5日)を行った。建物については、秋に一般公開(2日)を行った。</li> <li>・建物等の適切な維持管理と、その費用に充てる施設維持協力金の確保を行った。</li> <li>・地元住民ボランティアと協力し、庭園及び建物の適切な維持管理に努めた。</li> </ul>
---

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	旧華頂宮邸管理運営事業	各所修繕、庭園管理・屋内清掃、機械警備、樹木剪定	入場者数(人)	6,289 / 5,000	13,980 / 18,451	5,000 15,108	125.8%
02				/	/		
03				/	/		
04				/	/		
05				/	/		
06				/	/		
07				/	/		
08				/	/		
09				/	/		
10				/	/		
		財源内訳	国県支出金	/	/		
			地方債	/	/		
			その他特定財源	1,980 / 4,100		1,500	
			一般財源	12,000 / 14,351		13,608	
			<b>事業費の合計(千円)</b>		13,980 / 18,451		15,108
			<b>人件費(千円)</b>		7,596	7,793	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.5	1.0	1.0	1.0		
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0		

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	旧華頂宮邸管理運営事業	コロナ禍により控えていた建物公開を開催したため、当初想定していた以上の入場者が訪れた。	景観重要建築物等の保存により、第4期基本計画「良好な都市景観の形成」に寄与した。	当該施設の利活用に当たっては、近隣住民との調整のほか、建物の耐震補強工事が不可欠。
02	0			
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー
		宅間ボランティアの会

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>近年、地震・風水害による公共施設の損壊が各地で発生し、各施設の老朽化対策が喫緊の課題となっている。当該建物は、平成8年に取得して以来、大規模改修を行っておらず老朽化が著しいため、今後、当該建物の保存活用に向けた耐震補強・大規模改修工事の実施について検討する。</p>					

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	入場者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
近代鎌倉の魅力を広く伝え、施設維持に充てる寄附金を募るため、入場者数確保が必要となる。	目標値	10,000	5,000	5,000	5,000	5,000	10,000	
	実績値	4,205	4,462	6,289				
	達成率	42.1%	89.2%	125.8%				

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--